

# 租税教育実践レポート

## 震災復旧・復興の取組みと税金の関係について考える

登米市立中津山小学校 第6学年 教諭 林 智 美  
実施年月日：令和2年1月22日

### 1. 実践計画・指導のねらい

税金という言葉は全員が知っており、税金の種類についてもいくつか知っている児童が多かったが、その用途についてはあいまいな児童が多かった。東日本大震災の様子を知らせ、震災直後としばらく後では町が復興し大きく変化したことに気付かせる。災害復旧に向けた国や県、市の取組みについて知る中で、復興にかかる費用は、国民や企業から集められた税金が使われていることに気付かせたい。

### 2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、児童の反応 (●)、使用教材等 (□)
1	震災直後の市や県、国の取組みについて知る。	○ 震災直後の写真から少しずつ変わっていく町の様子を見て、どのようなことを考えましたか。 ● 何もなくなった土地に少しずつ道路や建物ができてきた。 ○ 復興を願う人々の思いから、政治がどのような働きをしたのか知りましょう。 ● 水道や電気、ガスなども復旧させている。
2	税金が自分の生活とどのように密接にかかわっているか知り、税金の必要性について理解する。	○ 知っている税金の種類は何ですか。 ● 消費税、所得税、住民税、固定資産税 ○ 税金が使われている施設は何ですか。 ● 学校、公園、消防車、信号 等 ○ 税金がないとしたら、私たちの生活はどうなるでしょう。 ● 税金は豊かで夢のある生活を送るためにある。
3	税金を活用し、復興のために努力している人々について知る。	○ 市や国の復興への取組みについて知る。 ● 復興計画をつくり、さまざまな取組みをしている。 ○ プレハブの商店街の写真を見て、どんなことが分かりますか。 ● 商店街の復興のために税金を活用している。 ○ 震災から立ち上がった人達の話を聞いてみましょう。 ● 新しい町づくりのために人々が努力し、協力している。税金の大切を改めて感じる。
4	調べてきたことを項目ごとに整理して新聞記事に書く。	○ 調べたことを項目ごとに整理して新聞記事に書きましょう。どの項目にも政治の働きや税金の活用が関わっていることが分かるようにまとめましょう。 ● 震災直後の国、県、市の取組みについてまとめる。 ● 震災復旧に向けた国、県、市の取組みについてまとめる。 ● 災害復興に向けた国、県、市の取組みについてまとめる。

【指導のポイント】≪1時間目≫  
気仙沼の町を定点カメラで撮影した画像から、道路ができ、建物が建ち、町が少しずつ復興していく様子をとらえさせる。復興にはお金がかかるはずだが、そのお金がどこから出ているか想像させることで税金へと結び付けた。

【指導のポイント】≪2時間目≫  
税務署からゲストティーチャーを迎え、税金の基礎知識について教えてもらう。もしも税金がなかったらどんな世の中なのかがよく分かる DVD を視聴し、税金の大切さに気付かせた。  
DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」

【指導のポイント】≪3時間目≫  
デジタル教科書を活用し、村田さんや坂本さんが話している様子を児童に示し、復興のために努力している人々について知らせる。プレハブを活用した商店街をつくるためにも税金が活用されていることに気付かせた。

【指導のポイント】≪4時間目≫  
これまで調べてきたことを関連付けたり、統合したりして、国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることや、税金が活用されていることおさえさせた。

### 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 気仙沼の町の変化から、誰がどのようにして復旧・復興を進めていったのかという課題を全員がもつことができた。
- ◎ 税務署からゲストティーチャーにおいでいただき租税教室を開催できたことで、税金について児童の興味・関心を高めることができた。
- ◎ 税金の種類カードや建物カード、1億円のレプリカ、DVD など様々な資料を提示していただき、税金についての理解が進んだ。
- ◎ 税金がなかったら私たちの生活はどうなっているのか考えることで、税金が私たちの生活を豊かにするために不可欠であることに気付かせることができた。
- ◆ 税金について調べる際、仙台国税局が制作した副教材「わたしたちのくらしと税金」を活用した。しかし、さらに詳しく調べようとした際、小学生でも理解できるような資料を見つけることが難しかった。
- ◆ 税金について考える際は、「国会」「内閣」「予算案」「国税」「地方税」などの関連語は児童にとって理解が難しかった。次時の「国の政治のしくみ」の学習を行った後もう一度税金について振り返ることで、より深く理解できると考える。